

令和6年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立 三橋中学校) 学校番号 224

目指す学校像 子どもが行きたい学校 保護者が行かせたい学校 教職員がやりがいを感じられる学校 地域が信頼を寄せる学校

重点目標	1 デジタルの優位性を存分に活用した個別最適な学びの推進及び基礎学力の向上 2 安心・安全な学校に向けた相談機能の一層の向上を目指した生徒指導・教育相談体制の充実 3 学校運営協議会を中心とした学校・家庭・地域の協働体制による社会に開かれた学校の実現 4 一人ひとりが力を発揮し、誰もが居心地のよい(Well-Being)学校をつくる教職員研修の充実
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学力向上に関する取組

安心・安全に関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教職員の資質向上に関する取組

学 校 自 己 評 価				学 校 運 営 協 議 会 に よ る 評 価			
年 度 目 標				年 度 評 価			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査は、全国との比較で全ての教科が平均を上回っている。市との比較では、数学は市の平均より高い力があるが、国語・英語は平均を若干下回っている。 ○市の学習状況調査【生活習慣に関する調査】では、「学びに向かう力等」について肯定的な回答をした生徒の割合は、3年生は全教科・理科は全学年が市の平均を上回っているが、その他は、市平均より若干低い傾向がみられる。 ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、ICT機器の活用状況に係る質問項目において、すべて全国、県、市の平均を上回っている。 (課題) ○全国学力・学習状況調査の結果分析から、全国平均は上回っているものの、国語の「言葉の特徴や使い方」、英語では、全項目が市の平均を下回っている。 ○各教科におけるICTの活用状況調査では、市の平均を大いに上回っているが、一層の効果的な活用を研究・実践する。	・学びの自律化に向けた情報端末の活用、授業改善	①「学びのポイント」(じしゃく)を活用した授業研究を各学年が随時取り組み、生徒が目標をもって主体的に学ぶ「探究的な学び」を実践する。 ②デジタル教材を活用し、生徒が目標をもって学習に取り組むことで、個別最適な学びを推進する。 ③学習状況調査の結果から、基礎学力の定着に一層の充実を達成する。 ④Solaを一む等を活用した、個別最適な学びの場を提供する。	①学校評価(生徒)において、「授業は楽しくわかりやすいですか。」の肯定的な回答の割合が95%以上となったか。 ②学校評価(生徒)において、「学習用端末を活用することで、学習に取り組みやすくなったと感じますか。」の肯定的な回答の割合が95%以上となったか。 ③学習状況調査【生活習慣に関する調査】の「学びに向かう力等」について肯定的な回答をした生徒の割合が市の平均を過半数で超えることができたか。			
		・学ぶ楽しさを実感できる「STEAMSTIME」の実施による探究的な学びの実現	①「STEAMSTIME」で、プログラミング的思考とPBLを取り入れた探究的な学びを行う単元を創り出し、実施する。 ②教員と生徒が共に学び、試行錯誤しながら、現代的な課題の解決を目指すプログラムを展開する。	①学校評価(教職員)において、「STEAMSTIME教育を理解し、STEAMSTIMEを実施することができたか」と回答する教員の割合が65%以上となったか。 ②学校評価(教職員)の総合的な学習の時間に関連する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。			
2	(現状) ○全国学力・学習状況調査において、「学校に行くのが楽しい」の質問に肯定的な回答をした生徒の割合は、全国、県平均を上回った。 ○さわやか相談室・スクールカウンセラーの配置・Solaの一むの設置等の生徒の心のサポート体制の一層の充実に取り組んでいる。 ○昨年度も、施設・設備の不具合等が主な原因と考えられる生徒のけがは0件であった。 (課題) ○いじめや不登校等、生徒の内面における安心・安全な学校づくりを一層推進する。 ○問題行動の対応・解決に向けての取組において、多様な価値観の関係者から同意を得ることに課題が増えてきている。 ○教職員の問題行動対応力の一層の向上を行う。	・いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期解決に向けた校内体制の充実	①定例(週1回)の生徒指導委員会・教育相談部会では、情報連携を効率的に実施し、生徒一人ひとりに応じた支援の方法(ケース会議)を実施することで有効な支援につなげる。 ②年間6回のアンケートを実施し、生徒の心の状態の把握し、支援が必要な生徒には面談を適宜実施する。	①学校評価(教職員)における生徒指導・教育相談に関連する項目の肯定的な回答の割合が95%以上となったか。 ②学校評価(生徒)(保護者)において、関連する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。			
		・安全な生活の実現に向けた校内体制の充実	①月に1回の安全点検で危険箇所を確実に把握し、修繕が必要な箇所については速やかに対応する。 ②教職員の情報連携・行動連携を一層向上させ、デジタルの優位性を活用した問題行動対応力・情報収集能力の一層の向上を達成する研修を実施する。	①学校評価(教職員)に係る安全指導、施設・設備に関連する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。 ②電子媒体の管理簿は、学期に1回以上点検し管理の徹底をすることができたか。また、破損した状態のまま使用せず速やかに修繕することができたか。			
3	(現状) ○三橋小・三橋中学校合同(協働)の学校運営協議会を組織し小中一貫の地域連携を実施している。 ○保護者の式典や行事への参加方法及びPTAの在り方について、従来の方法にとらわれることなく、インベーションを基本とし、ニーズに応じた方法で実施している。 (課題) ○学校運営協議会で熟議・決定した「三橋学区で目指す児童生徒像」の一層の充実を目指し、学校・家庭・地域ができることを、現状を確認しながら協働活動へと一層発展させていく。 ○保護者の意識の変化や時代のニーズを確認しながら、学校公開の方法やPTAの活動を研究し、実践する。 ○デジタルの優位性を活用した情報発信を一層向上させる。	・学校運営協議会を軸とした「熟議」から「協働」への転換による役割の明確化と、地域学校協働活動の推進	①三橋学区で目指す児童像や身に付けさせたい資質・能力について共有するとともに、学校・地域・保護者の役割と具体的な取組について明確化する。 ②学校運営協議会において、学校・家庭地域それぞれの取組の成果と課題及び改善策について熟議し、組織的で持続可能な連携・協働体制を構築する。	①学校運営協議会の熟議で、学校・地域・保護者の役割と具体的な取組について明確にし協働へとつなげることができたか。 ②学校運営協議会委員アンケートのすべての項目で、肯定的な回答の割合が90%以上となったか。			
		・PTA、地域との連携・協働による、自己肯定感を醸成する教育活動の展開	①地域のボランティア活動の情報を積極的に集めると共に、新たなボランティアの機会の新設を地域と協働ですすめる。 ②保護者の意識や希望に沿う学校公開や式典を計画する。また、デジタル化した情報を有効に発信するためのソフト・ハードを研究する。	①学校評価(教職員)における「家庭・地域との連携」に係る項目において、肯定的な回答の割合が90%以上となったか。 ②学校評価(保護者)における家庭・地域・HPに係る3項目で、肯定的な回答の割合が85%以上となったか。			
4	(現状) ○学校の歴史から、教育活動全体を通じた人権教育を持続可能な取組として実施していくことを目標に、研究会や校内研究に取り組んでいる。 ○学校全体の教育水準の向上を目指し、教職員個々の研修奨励を行い、教職員は資質向上指標・個々の目標に応じた研修をおこなっている。 (課題) ○本校における人権教育の推進は持続可能で恒久的な取組である必要がある。 ○SSSPを活用し、教職員個々の必要に応じた研修を行うことで、指導力向上を達成する。そのためには、研修機会・時間の確保をおこなうための働き方改革の一層の充実が必要である。	・教育活動全体を通じた人権教育の推進並びに、授業力向上のための研修の実施 ・誰もが居心地のよい職場環境の構築	①計画的な校内研修の実施と教職員の情報連携による人権教育の実施・推進を行う。 ②人権教育が適切に教育活動の中で実施・反映されているか、生徒は望ましい変容をしているかの確認機会を設定する。 ③SSSP・教育DXが活用できる職場環境を整備し、ワークライフバランスのとれた労働環境を確保する。	①年6回の校内研修を計画通りに実施することができたか。 ②学校評価(教職員)における校内研修に係る項目において、肯定的な回答が90%以上となったか。また、学校評価(生徒)における「授業は楽しく分かりやすいですか」の項目において、肯定的な回答が95%以上となったか。 ③学校評価(教職員)における働き方改革に係る項目において、肯定的な回答の割合が75%以上となったか。			

学校運営協議会による評価  
 実施日令和 年 月 日  
 学校運営協議会からの意見・要望・評価等